平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月6日

上場会社名　岡野バルブ製造株式会社　　上場取引所　東 福
コード番号　6492　URL　http://www.okano-valve.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡野　正紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 岡野　武治　TEL 093-372-9214

四半期報告書提出予定日　平成24年7月13日　配当支払開始予定日　平成24年8月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第2四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	4,718	△9.0	382	83.7	483	51.3	260	188.6
23年11月期第2四半期	5,182	△2.5	208	△56.9	319	△47.7	90	△75.5

(注)包括利益　24年11月期第2四半期　257百万円　(―%)　23年11月期第2四半期　90百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	14.71	―
23年11月期第2四半期	5.06	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第2四半期	10,982	8,800	80.1
23年11月期	11,156	8,669	77.7

(参考) 自己資本　24年11月期第2四半期　8,800百万円　23年11月期　8,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	―	4.00	―	4.00	8.00
24年11月期	―	4.00			
24年11月期(予想)			―	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月 1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,502	△6.8	400	△50.2	520	△44.6	270	△29.8	15.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	:	無
② ①以外の会計方針の変更	:	無
③ 会計上の見積りの変更	:	無
④ 修正再表示	:	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期2Q	17,930,000 株	23年11月期	17,930,000 株
② 期末自己株式数	24年11月期2Q	259,989 株	23年11月期	52,689 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期2Q	17,736,209 株	23年11月期2Q	17,877,418 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内全ての原子力発電所停止に伴う電力供給不足、欧州の金融不安や中国市場の成長鈍化、長期化する円高など、企業収益の圧迫要因を払拭できないまま総じて低調に推移いたしました。

本年５月に国内で稼働する原子力発電所がゼロとなり、電力不足とともに原子力発電所再稼働問題は未だ混迷が続いておりますが、主に原子力・火力発電所向けバルブの製造販売およびメンテナンスを展開する当社グループにおきましても非常に厳しい事業環境が続いております。

バルブ事業におきましては、国内では大間原子力発電所向け弁の納期が一部先送りとなったものの、震災により納入が繰延べとなっていた広野火力発電所6号機向けの販売が本格化したほか、新設の常陸那珂火力発電所2号機向け、大間原子力発電所向け販売を中心に概ね期初の計画どおりに進捗し、売上高は前年同期に比べやや増収となりました。

一方、海外向けにつきましては、台湾の新設火力発電所案件を主体として既設弁のリプレースや部品取替などもあり、期初からの低調な売上を若干は回復したものの、引き続く円高の影響により前年同期に比べて大幅な減収となりました。

メンテナンス事業におきましては、期初は低調に推移しましたが、５月に柏崎刈羽原子力発電所5号機および6号機の定期検査工事が予定どおり売上計上されたほか、除染作業等の復興工事にも注力したことで期が進むにつれ売上高は回復傾向となりました。しかしながら、国内において原子力発電所が再稼働できない状況が続いており、原子力プラント向けの需要領域が大幅に縮小していることから、結果として前年同期に比べ減収となりました。

損益面につきましては、収益性の高い原子力発電所定期検査工事の施工で原価率が好転したほか、組織のスリム化、諸制度の見直し、固定費の削減、作業効率の向上など震災以降全社的に取り組んできた様々なコスト削減策が原価の引き下げに寄与いたしました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高4,718百万円（前年同期比9.0％減）、経常利益483百万円（前年同期比51.3％増）、四半期純利益260百万円（前年同期比188.6％増）となりました。

なお、営業外収益には、戦略的原子力技術利用高度化推進費補助事業として交付された平成23年度補助金の一部64百万円が含まれております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ173百万円減少し、10,982百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,033百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が446百万円、仕掛品が508百万円、固定資産が212百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ304百万円減少し、2,182百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が86百万円、未払費用が78百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ130百万円増加し、8,800百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が189百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ973百万円増加し、2,774百万円となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少やたな卸資産の減少により1,219百万円の収入（前年同期713百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入や有形固定資産の取得により92百万円の支出（前年同期154百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の増加により154百万円の支出（前年同期114百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年６月27日に業績予想の修正を公表いたしましたとおり、下期の業績につきましてはバルブ事業・メンテナンス事業ともに厳しい状況が予想されます。

国内向けのバルブ事業におきましては、新設プラントである上越火力発電所2号系列2軸、鹿島火力発電所7号系列1、2軸や大間原子力発電所向けの生産・販売を中心に概ね計画通りに推移するものと思われます。しかしながら海外向けにつきましては、円高の影響で価格競争力が低下しており、受注・販売とも依然として厳しい状況が続く

ものと思われます。

また、メンテナンス事業につきましても、除染作業等の復興関連や火力発電所向け案件の確実な受注・施工を通じて売上高確保に努めてまいりますが、当社の収益形成において重要な位置付けとなる原子力定期検査工事が見込めないため、前期に比べ大幅な減収が予想されます。

損益面におきましても、第２四半期までは期初の予想を上回りましたが、バルブ事業では豊富な鋳込量に繋がる海外向け生産の減少や国内向けバルブ需要の火力発電所案件への移行などから製造原価の上昇が予想されます。メンテナンス事業におきましても、付加価値の高い原子力発電所向け工事案件の減少や工事量の絶対不足による待機コストの増加などから上期までの利益率を大幅に下回るものと見込まれます。

なお、現段階においては平成24年６月27日に修正いたしました通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は国内原子力プラントの再稼働時期をはじめ、国内外における今後の原子力政策上の様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年11月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,061,577	3,094,886
受取手形及び売掛金	3,657,223	3,210,917
製品	102,193	107,012
仕掛品	1,746,331	1,237,580
原材料	103,539	96,641
その他	285,415	247,684
流動資産合計	7,956,280	7,994,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	783,865	751,295
機械装置及び運搬具（純額）	1,071,587	996,303
その他（純額）	693,858	644,430
有形固定資産合計	2,549,310	2,392,030
無形固定資産	23,213	24,699
投資その他の資産		
投資有価証券	168,902	175,420
繰延税金資産	386,668	322,412
その他	79,568	75,315
貸倒引当金	△7,600	△2,200
投資その他の資産合計	627,539	570,948
固定資産合計	3,200,063	2,987,678
資産合計	11,156,344	10,982,400

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年11月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,859	263,164
未払法人税等	108,401	139,350
未払費用	358,378	280,151
賞与引当金	51,730	44,679
その他の引当金	71,927	85,184
その他	235,114	195,752
流動負債合計	1,175,411	1,008,282
固定負債		
退職給付引当金	849,571	786,811
役員退職慰労引当金	223,177	178,849
その他	238,302	208,324
固定負債合計	1,311,051	1,173,986
負債合計	2,486,463	2,182,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,876,113	7,065,453
自己株式	△32,182	△87,433
株主資本合計	8,673,931	8,808,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,050	△7,887
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△7,887
純資産合計	8,669,881	8,800,132
負債純資産合計	11,156,344	10,982,400

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
売上高	5,182,736	4,718,273
売上原価	4,260,601	3,686,101
売上総利益	922,134	1,032,172
販売費及び一般管理費		
役員報酬	95,274	90,465
給料手当及び賞与	168,502	201,015
賞与引当金繰入額	45,704	601
退職給付費用	15,063	15,554
役員退職慰労引当金繰入額	8,556	8,216
減価償却費	7,747	9,083
その他	373,277	325,180
販売費及び一般管理費合計	714,126	650,116
営業利益	208,008	382,055
営業外収益		
受取利息	87	73
受取配当金	1,707	1,759
持分法による投資利益	20,179	11,912
受取賃貸料	12,672	13,481
補助金収入	66,972	64,110
その他	10,307	11,430
営業外収益合計	111,927	102,768
営業外費用		
支払利息	338	817
その他	23	567
営業外費用合計	361	1,384
経常利益	319,573	483,440
特別損失		
固定資産除却損	5,861	1,687
関係会社株式売却損	13,517	－
災害による損失	133,161	12,392
特別損失合計	152,539	14,079
税金等調整前四半期純利益	167,034	469,360
法人税、住民税及び事業税	147,700	131,300
法人税等調整額	△71,048	77,211
法人税等合計	76,651	208,511
少数株主損益調整前四半期純利益	90,382	260,848
四半期純利益	90,382	260,848

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	90,382	260,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	△3,837
その他の包括利益合計	△138	△3,837
四半期包括利益	90,243	257,011
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,243	257,011
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	167,034	469,360
減価償却費	165,883	188,820
賞与引当金の増減額（△は減少）	216,880	△7,051
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△73,585	△62,760
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7,287	△44,327
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	△5,400
受取利息及び受取配当金	△1,794	△1,833
支払利息	338	817
補助金収入	△66,972	△64,110
持分法による投資損益（△は益）	△20,179	△11,912
関係会社株式売却損益（△は益）	13,517	－
固定資産除却損	5,861	1,687
売上債権の増減額（△は増加）	57,058	446,305
たな卸資産の増減額（△は増加）	△56,511	510,831
仕入債務の増減額（△は減少）	△284,580	△86,695
その他	△481,153	△77,936
小計	△350,916	1,255,794
利息及び配当金の受取額	1,794	1,833
利息の支払額	△338	△817
補助金の受取額	66,972	64,110
法人税等の支払額	△431,390	△100,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	△713,878	1,219,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△60,000
有形固定資産の取得による支出	△534,761	△34,859
固定資産の除却による支出	△4,807	△1,161
無形固定資産の取得による支出	－	△2,700
ゴルフ会員権の売却による収入	－	2,750
関係会社株式の売却による収入	49,200	－
補助金の受取額	335,790	3,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,579	△92,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	－
短期借入金の返済による支出	△400,000	－
リース債務の返済による支出	△25,059	△28,302
配当金の支払額	△89,026	△71,114
自己株式の純増減額（△は増加）	△131	△55,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,216	△154,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△982,673	973,308
現金及び現金同等物の期首残高	2,567,218	1,801,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,584,544	2,774,886

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年12月１日　至　平成23年５月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額（千円）（注１）	連結財務諸表計上額（千円）（注２）
	バルブ事業（千円）	メンテナンス事業（千円）	計（千円）		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,543,457	2,639,278	5,182,736	－	5,182,736
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,543,457	2,639,278	5,182,736	－	5,182,736
セグメント利益又は損失（△）	△35,469	536,695	501,226	△293,218	208,008

（注）１．セグメント利益の調整額△293,218千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年12月１日　至　平成24年５月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額（千円）（注１）	連結財務諸表計上額（千円）（注２）
	バルブ事業（千円）	メンテナンス事業（千円）	計（千円）		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,381,924	2,336,348	4,718,273	－	4,718,273
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,381,924	2,336,348	4,718,273	－	4,718,273
セグメント利益	58,940	608,008	666,948	△284,893	382,055

（注）１．セグメント利益の調整額△284,893千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。